

# PSC Report

パートナーシップ・  
サポートセンター

Vol.90



発行 特定非営利活動法人  
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)  
〒464-0067 名古屋市千種区池下1丁目11番21号  
サンコート池下4F  
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407  
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp  
発行人・岸田眞代

## Vol90号発行にあたって

今年度の総会で出した2013年度の主な方針は、1つが「自主事業の継続と確立」であり、もう1つは「委託等に左右されないしくみづくり」です。

私たちパートナーシップ・サポートセンターは、今年第10回を迎える『日本パートナーシップ大賞』という誇れる自主事業をもっており、またそれを支える事業として定着してきた『企業&NPO 協働アイデアコンテスト』も、(公財)中部圏社会経済研究所との協働で第8回を迎えます。

これら2つの大事な事業を柱に今年は展開することになります。が、中間支援NPOとしての重要な事業とはいえ、特に『パートナーシップ大賞』事業は必ずしも組織の経済基盤を支えるものとは言えません。自主事業として経済基盤を支えるものをつくり出したい、という長年の願いを何とか形にしていきたいというのが、今年の大きなテーマです。

それが委託等に左右されないしくみでもあり、外部専門家や研究者、そしてNPO関係者らとのネットワークによる研究や調査、事業の展開と言えます。

もちろん、委託や助成を否定するのではなく、PSCらしい事業には果敢に挑戦していく姿勢を貫きたいと考えています。

PSCと一緒に事業を、研究を、とお考えのみなさん、ぜひ積極的にお声掛けください!

2013年6月吉日

パートナーシップ・サポートセンター  
代表理事 岸田 眞代

## NPO×企業の協働事業を募集中!!

### 第10回日本パートナーシップ大賞

NPOと企業との協働に取り組んでいるみなさま、ぜひご応募ください!!

7月31日(水):締め切り

\*日本パートナーシップ大賞 グランプリ

1事業 記念盾及びNPOには副賞30万円

\*日本パートナーシップ大賞 準グランプリ

1事業 記念盾及びNPOには副賞10万円

\*日本パートナーシップ大賞 優秀賞

3事業 NPOに副賞5万円

詳しい募集要項と応募用紙は、PSCのWebサイトからダウンロードしていただけます。URL:http://www.psc.or.jp

## 総会が無事終了しました!

### 2013年度PSC定時総会

5月25日(土)13:30より、PSC定時総会を開催しました。

今年は、堀越哲美理事のご協力により、名古屋工業大学の教室をお借りして、黒板に白墨という懐かしい雰囲気を感じながらの開会となりました。107名(出席28名、委任状79名)の会員のみならずにご参加いただき、市川博美理事の議事進行により、2012年度事業報告及び決算報告、2013年度事業計画及び活動予算などの審議が行われ、活発なご質問等がなされる中、滞りなく閉会となりました。

2013年度もよろしくお願いたします。(水野)



## 「さわやか愛知の理念は3C活動から」 ～チョイス・チャレンジ・チャンス～

### 2013年度PSC定時総会「講演会」

NPO法人福祉サポートセンターさわやか愛知  
理事長 川上 里美さん

総会終了後の15:00より、PSC理事でNPO法人福祉サポートセンターさわやか愛知理事長の川上里美さんによる、講演会を開催しました。

さわやか愛知の歴史とともに、介護保険事業、障がい者の自立支援事業、たすけあいの会などを通じて地域で安心して暮らせる社会を目指し、少子高齢化の時代を見据えて、今日まで発展してきた団体の活動と福祉の現状をお話いただきました。昨年開所した「さわやかタウン」では、デイサービスの利用者さんが水耕栽培の野菜を育てる施設があり、一般の方も利用できる「さわやかレストラン」で水耕野菜のサラダが提供されているとの紹介がありました。参加者からは「一度食べに行ってみたいです」との感想も寄せられました。(水野)



## NPO喫茶「ボタンCafé」 7月1日(月) 東区白壁にオープン!

### NPO喫茶支援

中産連ビルディング株式会社(名古屋市東区白壁三丁目12-13)本館1階にNPO喫茶「ボタンCafé」がオープンします。中産連ビルディング様より空き店舗をご提供いただき、社会福祉法人ゆめネットが運営することになりました。PSCが1999年より支援している「カフェ・アイリス」(下記にて紹介)に続いて2店舗目になります。「カフェ・アイリス」をご利用いただき、NPO喫茶の存在を知った中産連ビルのご担当者さんから「ぜひうちの空き店舗も活用したい」とのお申し出があり、約1年間かけて協議を重ねてきました。

ゆめネットで働く知的障がいのある若い方々が、調理や接客の訓練を行いながら、中産連ビルへの来館者や入居企業のみならず、おかつろぎのひと時を提供できるように頑張っています。みなさまぜひ一度お立ち寄りください。(水野)



## 広がれ! 協働の輪「1999年からつづく、障がい者が働く企業内カフェ」

2011年度に作成した「NPO×企業 協働推進Q&A」から、協働事業を紹介します。

### 協働事例紹介

社会福祉法人ゆめネット × 三井住友海上火災保険株式会社  
(2012年3月現在)

三井住友海上中部本部が入っている自社ビル(名古屋市中区錦1-2-1)の1階の喫茶コーナーを運営していた業者が採算を理由に撤退したことを受け、1999年3月から喫茶運営をNPOに任せている協働事業。従来どおりスペースと什器備品は企業が無償で貸与し、水道光熱費も負担。NPOは人と食器、消耗品、食材を用意し喫茶営業をおこなっている。当初は女性団体、聴覚障がい者団体等が関わり、現在は別の障がい者団体が運営を任されており、知的障がい者等の働く場になっている。

最初にコーディネートしたパートナーシップ・サポートセンター(PSC)が企業との間に入りNPO側の契約者となることで、企業側に受け入れやすい条件を整えた。契約は一般的な「使用貸借契約」であるが、「使用細則」の中で毎月1回の定期協議を定めている。

毎月1回の定期協議には、企業、運営団体、PSCの3者が参加し、様々な課題を協議してきた。企業側では責任者や担当者の交代だけでなく、2001年に企業合併を経験、運営NPO側も何回かの変遷があったが、その都度、運営会議で話し合い、課題を克服しながら10年以上継続し、最近では、三井住友海上が名古屋に持っている音楽ホールのバーコーナーを同様の方式で障がい者団体が



運営するなど、発展している。企業としては、社員やお客様へのサービスを維持しながら、社会貢献活動にもなっているというユニークな協働事業である。

## 地域コミュニティとの 関係づくりを目指し、協働事業が発進!

### CSR推進事業

株式会社真誠「第13回CSR委員会」が6月13日(木)に開催されました。この委員会で現在進めている事業は2つ。1つは地域との関係づくりを目指し、子育て中のママを支援する「ママのホンネ研究所」との協働事業。検討を重ねる中で、真誠社員は、経営戦略としてではなく、CSRとして協働事業を進めていきたいという思いが強くなり、コミュニティ参画と消費者課題を解決することを目的に、プロジェクト名も「Let's"心も体もKI・RE・Iママ"ゴマンえつ(ご満悦)プロジェクト」に決まり、いよいよ事業がスタートしました。

そして、もう1つはCSRレポートの作成。日常の業務で多忙な中、原稿を作成しています。まだまだすり合わせなどが必要ですが、こちらもSHDとCSR委員会の3年間を振り返りつつ、真誠らしいレポートになりそうです。(山崎)



## PSC代表岸田の“東へ西へ” (2013年5月~6月)

前回、大きく誌面を取ってしまった反動か、今回は少々小さなスペースになってしまいました(!?)。

5月。東京での岩手メンター会議、CEO会議(いずれも日本NPOセンター主催)への出席(5/8水~9木)、総会が終わって翌日の5/26(日)、愛知県一宮市の「第2回市民と企業の協働フェスタin一宮」での講演(「NPOと企業が協働で地域に貢献」)。一宮駅 i-ビルシビックテラスという、何ともオープンな場所での経験となった。5/29(水)には東京から企業社会責任フォーラムの代表者が来所、CSR検定実施についての依頼を受けた。5/30(木)からまたまた岩手へ。大槌ではまち全体のかさ上げのため支援メンバーの団体が運営している復興食堂の移転を予定。また企業との連携で再生進行中の山の古民家の現場を見せてもらった(下記写真)。

6月。3日(月)からは岩手の別のメンバーが愛知へ。PSC会員企業でもある(株)真誠で、2週間インターンとして研修。その間に、なごや環境大学の共育ゼミ「とことんトーク」(エコプラットフォーム東海主催)6/8(土)や、私がアドバイザーを務めるおうみ未来塾12期生の中間発表会(滋賀県大津市)6/9(日)にも参加してもらった。さらに、真誠の「第13回CSR委員会」にも参加。NPOとの協働が進む現場に、大いに刺激を受けたようだった(3面参照)。

その他、名古屋市の特報報酬の審議会や指定管理者の評価委員会等がいくつかあった。(2013.6.25 岸田真代)



## 学生インターンを紹介します!

2013年6月～2014年1月の間、2名の大学生がPSCと一緒に活動します。

### 損保ジャパン環境財団「CSOラーニング制度」

#### 〈近藤穩加さん〉

はじめまして。PSCで6月からインターン生としてお世話になります。名古屋大学経済学部3年の近藤穩加です。海外インターンシップを運営する学生団体に所属し活動していく中で、社会にどのような影響を私たちは与えることができるのか、常に私の課題でした。貴重なこの機会を通して、多くの活動に参加する中で、社会にimpactを起こせる自分に一歩でも近づけることができたらと思います。どうぞよろしくお祈りします。



#### 〈伊藤里奈さん〉

今年度PSCでインターンさせていただく愛知淑徳大学2年の伊藤里奈です。昨年度、アメリカと日本のNPOについて勉強してきました。今年度は日本のNPOについて深く学びたく、またNPOと企業がどのような形で動いているかに興味があったため、PSCのインターンに応募させていただきました。わからないことがたくさんありますが、より多くのことを学びつつ、知識を増やしていきたいと思っております。よろしくお祈りします。



## インターンシップ参加で、視野に広がり

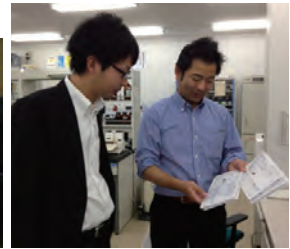
岸田代表が「市民活動団体育成強化プロジェクトメンター業務」で支援している「いわてNPO-NETサポート」の黒沢さんに、(株)真誠さんでのインターンシップを終えた感想をいただきました。

### 黒沢惟人さん(いわてNPO-NETサポート)

6月3日～6月14日の間、真誠さんでのインターンシップを「企業視点でのCSR活動」、「組織運営」、「視野の広がり」という目的でさせていただきました。

CSR活動はNPOとの協働が着々と進んでいることを実感できましたし、何より社内としてCSR活動への理解度が高いと感じました。毎朝の体操と歌、理念の音読が行われている結果、部やチームを越えた交流が多く、社内の雰囲気がとても良いことは、組織運営上大事なことだと認識しました。私自身、初の食品メーカーで、営業から製造、出荷という一連の流れを学んだこと、その間にも改善活動などの多くのチームが関わっていることを学べたことは視野の広がりにつながりました。

最後の成果発表には業務中にも関わらず、多くの社員の方に参加いただきとても嬉しかったです。総務の方々、CSR委員会の皆さん、各チームで説明いただいた社員の方にとっても感謝しています。ありがとうございました。



▲(左)前列中央・(右)左が黒沢さん

## 第10回を迎える、日本パートナーシップ大賞への想い①

パートナーシップ大賞の運営委員として、事例調査などを含めた事業運営に携わっていただいているみなさんに、今年第10回目を迎える想いを寄せていただきました。順次ご紹介していきます。

### 河井 孝仁さん(東海大学文学部広報メディア学科 教授)



NPOと企業の協働を顕彰する日本パートナーシップ大賞を振り返って、最も印象的なこと。それは協働事業評価基準の策定です。2002年に第1回を行うパートナーシップ大賞の実施に向けて、その前年から評価基準の策定について熱のこもった積極的な議論を行いました。団体発足当初からPSCはパートナーシップ大賞の実施を目標の一つに置いていました。その適切な実施にはNPOと企業の協働をどのように評価するかを明確にしなくてはなりません。それまで、PSCはアメリカでのNPOと企業の協働に関わる調査や、関連文献の確認を行ってきました。なかでも、James E. Austinが著し、ドラッカー財団から出版された『The Collaboration Challenge How Nonprofits and Businesses Succeed through Strategic Alliances』(仮訳『協働への挑戦 どのようにNPOと企業の戦略的連携は成功するのか』)は重要な資料でした。私も関わりつつ、この書籍を十分に

読み込み、基礎としながら協働評価基準の素案をつくったことは、そのころの事務所の様子とともに思い出すことができます。

当時はNPOと企業の関係はチャリティ(慈善)の枠組みで考えられるのが一般的でした。PSCでは、こうした評価基準の策定も一つのきっかけとして、これを拡張していきます。

PSCはパートナーシップ大賞を通して、NPOと企業の相互にWINがある協働事業、さらにそれが社会にインパクトを与え変革させていく協働事業を見つけ出し、評価し顕彰することに踏み出しました。

日本パートナーシップ大賞が第10回を迎えます。発足の頃の意欲は今も変わっていません。応募された事例を十分に検討し、選定事例を実際に訪ねて、話を具体的に伺う、そのようにして探し出された協働事業、その顕彰は、この国のこれからにとっても、さらに重要な意義を持ち始めていると考えています。

# PSC 主な活動2013年5月～6月

5/1(水)	尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議
5/2(木)	名古屋市緑政土木局来所
5/7(火)	PSC会計監査、「新しい公共フォーラム・あいち」分科会連絡会
5/8(水)	「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」岩手メンター会議(東京)
5/9(木)	日本NPOセンターCEO会議
5/10(金)	愛知県市町村NPO担当者会議
5/11(土)	なごや環境大学共育ゼミとことんトーク②、尾張旭市市民活動促進助成事業候補選定会議
5/13(月)	名古屋市公園管理運営業務委託者選定会議、凸版印刷来所
5/14(火)	なごや環境大学講座チーム会議、愛知県ESD公募説明会
5/16(木)	損保ジャパンCSOラーニング面接
5/17(金)	第1回PSC理事会
5/21(火)	東海ゴム工業(株)社長らと懇親
5/23(木)	(株)真誠&ママのホンネ研究所協働事業定例会(中部経済新聞社取材)、シニアボランティア会議
5/25(土)	第2回PSC理事会、PSC定時総会
5/26(日)	「市民と企業の協働フェスティバル」(講演)
5/27(月)	なごや環境大学総会、「新しい公共フォーラム・あいち」分科会連絡会
5/28(火)	名古屋市来所(特別職報酬等審議員説明)
5/29(水)	カフェ・アイリス運営会議、企業社会責任フォーラム阿部代表来所
5/30(木)	「市民活動団体(NPO)育成・強化プロジェクト」岩手訪問(～6/1)、愛知県ESD企画書提出
6/1(土)	「第10回日本パートナーシップ大賞」応募事業受付開始
6/3(月)	愛知県ESDプレゼン、東海市まちづくり推進事業一次審査会、東北メンター支援者(株)真誠インターン開始(～14日)
6/5(水)	名古屋市特別職報酬等審議会
6/7(金)	CSR専門家勉強会(岩手からのインターン生参加)
6/8(土)	なごや環境大学共育ゼミとことんトーク③
6/9(日)	淡海ネットワークセンター「おうみ未来塾」12期生中間発表会
6/10(月)	「第8回企業&NPO協働アイデアコンテスト」エントリー開始
6/12(水)	名古屋市指定管理者評価委員会、愛知県ESD調整会議
6/13(木)	(株)真誠CSR委員会⑩、「新しい公共フォーラム・あいち」分科会連絡会
6/14(金)	中部ESD拠点協議会来所、中部経済新聞社来所
6/17(月)	名古屋市指定管理者評価委員会
6/18(火)	デンソーユニティ来所、愛知県ESD調整会議
6/20(木)	第8回協働アイデアコンテスト北陸訪問(～21日)、シニアボランティア会議
6/21(金)	愛知県NPOと行政の協働に関する実務者会議
6/22(土)	東海市まちづくり推進事業二次審査会
6/27(木)	カフェ・アイリス運営会議

## PSC事務局ではボランティアスタッフを募集しています。

編集や広報、郵便物の発送作業などの事務局業務をお手伝いしていただけませんか？

1日4時間以上、交通費は850円まで実費支給。できる時に、できるだけ、でけっこうです。あなたの力を貸してください。

## PSC Report のweb化のお知らせ

PSC Report vol.89や総会にてお知らせしたとおり、vol.91より本紙をweb化して会員の皆さまにお届けする予定です。今まで通り紙のPSC Report送付を希望される方は、お手数ですが同封の「PSC Report のweb化のお知らせ」に所定の事項をご記入の上、7月末頃までに返信をお願いいたします。

## PSC PICK UP! ピックアップ

### 第10回日本パートナーシップ大賞をご支援ください! ご協賛金大募集中!!

ご支援いただきましたご協賛金は、「第10回日本パートナーシップ大賞」の副賞および現地調査・選考等を含む運営費として最大限に活用させていただきます。

企業・団体……1口50,000円

個人サポーター……1口3,000円

\*その他ご相談ください。

### 今年も協働アイデアコンテストのエントリー受付が始まりました!

#### 第8回企業&NPO協働アイデアコンテスト

中部広域9県のNPOのみなさま、お待たせしました!今年もアイデアコンテストの募集が始まりました。

昨年度は、第6回最優秀賞のわおん♪さん、第7回最優秀賞のジョイフルさんが、みごと協働を実現し、追加助成を受けられました。現在も1団体から助成申請のお話をいただいています。

企業と一緒に協働することで活動も広がります。事業アイデアをお持ちのNPOみなさまからの、ご応募をお待ちしております。

◇エントリー：～7月31日(水)

アイデア募集：8月1日(木)～31日(土)

◇最終選考会：10月17日(木)15時～

名古屋商工会議所2Fホール

◇応募条件：富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀に所在するNPO団体(法人格の有無不問)

\*ご質問・お問合わせは、

PSC(052-762-0401)担当：山崎まで、お気軽にご連絡下さい。

\*詳細は同封のチラシをご覧ください。

### 9～12月の環境プログラムに参加しませんか?

#### SAVE JAPANプロジェクト

昨年大好評だったSAVE JAPANプロジェクトの参加者募集が始まりました。今年は、「都市の自然のモノサシ研究会」「森林インストラクター会「愛」と協働して、9/28、10/19、11/2、12/7に計4回(全て土曜日)の環境プログラムを実施します。身近な自然を、一緒に楽しく感じてみませんか?詳細は、チラシまたはPSCホームページをご確認ください。(共催：認定特定非営利活動法人日本NPOセンター、協賛：(株)損害保険ジャパン、日本興亜損保(株))

## 編集後記

#総会が終わったと思ったら、早くも7月、各事業が一斉に動き始めました。また暑い夏がやって来る?……健康第一でいきます!(松橋)

#アイデアコンテスト第8回にして、初めて広報で北陸3県に行ってきました。北陸のみなさま、ありがとうございます(\*^\_^\*)(山)

#PSCレポートが少し読みやすくなりましたがみなさまいかがですか?(松本)

#第10回日本パートナーシップ大賞応募をご検討中のみなさん、「いつ応募するの?」「今でしょ!」…はい。お待ちしております(^^)(水)